

愛西市在住の本校生徒が

愛西市の広報紙『あいさい』に掲載されました



掲載許諾済



第5回全国高校生
手話パフォーマンス甲子園

手話パフォーマンス甲子園
手話パフォーマンスとは、手話言語を使った歌唱、ダンス、演劇などのパフォーマンスに表情を含めた手話言語で演じるもの。手話パフォーマンス甲子園は、「手話の聖地」鳥取県で開催され、今年で5回目。この大会は、選手の熱いメッセージが伝わる素敵な大会となりました。

新しいジャンルへ挑戦

小さい頃から舞台に立つことや表現することが大好きだったという荒木さんは、高校入学後、JRC(青少年赤十字)部の手話パフォーマンスのグループを選択。手話のことは何も知らなかった荒木さんでしたが、意

スポット
ライト☆

手話パフォーマンスで輝く
荒木 麻生さん
(杏和高等学校・草平町)

思を伝えるおもしろさを学び、3年間打ち込みました。

高校としては4年連続出場となる今回は、新しいジャンル「狂言」に挑戦しました。勝つためには、新しいものにチャレンジしないとイケない。しかし、狂言独特の口調や動作も覚えなければならず、完成までの道のりは今までより何倍も長く感じました。

「日本財団賞」受賞

3年生の荒木さん達は、一度、受験のため部活を離れましたが、大会の2週間前にメンバーとして出場することが決まりました。そこからは、離れた期間を取り戻すために猛練習が始まったといいます。結果は、みごと日本財団賞を受賞しました。

手話パフォーマンスに出会い、表現力にさらに磨きがかかり、夢が広がった荒木さん。「先生から、3年生のおかげで受賞できたと言われて、すごくうれしかった。やつぱり演技するのが大好き！」とはじける笑顔で語ってくれました。